

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成29年度第1回高松市伝統的ものづくり振興審議会
開催日時	平成29年6月2日(金)14時00分～
開催場所	高松市役所 7階 72会議室
議 題	(1)高松市伝統的ものづくり振興事業補助金 審査 (2)平成28年度事業報告・決算 (3)平成29年度事業計画・予算 (4)その他
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	高松市情報公開条例(第7条)に該当
出席委員	4 人 池田委員、泉川委員、谷委員、本多委員
傍聴者	1 人 (定員 5 人)
担当課および連絡先	産業振興課創造産業係 8 3 9 - 2 4 1 1

審議経過および審議結果

池田委員、泉川委員、谷委員が出席。
(事務局)
高松市伝統的ものづくり振興審議会規則第3条第2項により、会議成立の報告。

情報公開条例第7条に該当するため、(1)高松市伝統的ものづくり振興事業補助金審査について、非公開とすることを決定。

補助金審査を実施。

泉川委員が退席され、本多委員が出席。
(事務局)
高松市伝統的ものづくり振興審議会規則第3条第2項により、会議成立の報告。

～事務局より議題(2)平成28年度事業報告・決算について説明～

(委員)
観光資源PR事業について、誰が実施し、どの旅行者に対して行ったのか。また、作成したPR動画はどこに配布し、そのような効果が出ているのか。

(事務局)
高松市が主体となって実施した。旅行者は、JTB、じゃらん、旅工房、サムライズ(外人向け雑誌)等。作成したPR動画は、関係先へ配布し、Facebookでも公開している。また、先月埼玉県で開催された、第8回世界盆栽大会に出展した際にブースで動画を流した。

審議経過および審議結果

(委員)

親子体験教室について、参加者定員に比べて応募者が多く、倍率が高く人気のようなのだが、平成29年度以降はどのようにしていく方針なのか。

(事務局)

平成28年度は5コース計親子147組に対して事業を実施。平成29年度はこども未来館と共同で事業を実施する方針である。ミライエの謝金を一部もらい、4コース計親子120組に対して実施予定である。

～事務局より議題(3)平成29年度事業計画・予算について資料をもとに報告～

(委員)

「伝統的ものづくり展示会等補助金」と「伝統的ものづくり振興事業補助金」は別々に補助金を出す必要があるのか。

(事務局)

「伝統的ものづくり展示会等補助金」は、毎年組合が開催している事業に対する補助金であり、「伝統的ものづくり振興事業補助金」は伝統的ものづくりの作り手が行う事業に対して補助を行い伝統的ものづくりの振興を図るものである。

(委員)

香川漆芸魅力発信事業に関して、伝統工芸品は多々ある中で漆芸だけが取り上げられているが、平成28年度でどのくらい効果が出たのか。また、香川県との連携をどのように進めていく方針なのか。

(事務局)

平成28年度は新商品開発事業、有力ギャラリー等の招へい事業、香川漆芸美術展開催事業、漆芸研究所修了作品貸出事業等を実施した。香川漆器は国の伝統的工芸品に指定されており、香川県と協力して相互連携を図りながら、事業展開を検討していきたい。

(事務局)

いただいた意見や視点を参考にしながら、事業内容の検討を行いたい。